

1万人女性意識調査

第1回「家族・夫婦 昔と今」要約版

2020年8月

目次

調査概要

回答者プロフィール

【総論】性別役割分担意識への共感度	1ページ
性別役割分担意識への共感度	2ページ
【総論】理想の夫婦の役割分担／現実の夫婦の役割分担	3ページ
理想の夫婦の役割分担	4ページ
現実の夫婦の役割分担	5ページ
【総論】理想の家計管理の方法／現実の家計管理の方法	6ページ
理想の家計管理の方法	7ページ
現実の家計管理の方法	8ページ
【総論】夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否／夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応	9ページ
夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否	10ページ
夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応	11ページ
未婚率上昇・晩婚化について	12ページ

調査概要

- 調査対象 全国の18～69歳女性
- 調査手法 インターネット調査
- 調査期間 2020年7月17日（金）～2020年7月21日（火）
- 回収数 以下のとおり全国を6エリアに分け、エリア毎に性年代別人口構成比に合わせて割付・回収。

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
北海道・東北	180	200	233	236	291	1140
首都圏	632	675	806	626	731	3470
中部	291	313	382	330	403	1719
近畿	296	302	379	305	373	1655
中国・四国	140	154	184	170	220	868
九州・沖縄	196	214	234	229	275	1148
合計	1735	1858	2218	1896	2293	10000

※エリア内訳

北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県		
首都圏	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	
中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
近畿	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県			
中国・四国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	

回答者プロフィール

◎就業状況

	お勤め (正規)	お勤め (非正規)	個人経営の 経営主	自由・ 自営業	主婦	学生	無職	その他
回答者数	3255	2718	78	383	2629	248	598	91
構成比(%)	32.6	27.2	0.8	3.8	26.3	2.5	6.0	0.9

◎家族の状況

	未婚・ 子どもなし	未婚・ 子どもあり	既婚・ 子どもなし	既婚・ 子どもあり	離死別・ 子どもなし	離死別・ 子どもあり
回答者数	2698	134	1387	4817	197	767
構成比(%)	27.0	1.3	13.9	48.2	2.0	7.7

◎2019年の個人年収（税込）

	100万円未 満	100~200 万円未満	200~300 万円未満	300~400 万円未満	400~500 万円未満	500~600 万円未満	600~700 万円未満	700~800 万円未満	800~900 万円未満	900~ 1,000万円	1,000~ 1,500万円	1,500~ 2,000万円	2,000万円 以上	収入はない	わからない 答えたくない
回答者数	2116	1679	1428	1034	614	311	161	108	55	23	55	14	13	1010	1379
構成比(%)	21.2	16.8	14.3	10.3	6.1	3.1	1.6	1.1	0.6	0.2	0.6	0.1	0.1	10.1	13.8

◎最終学歴

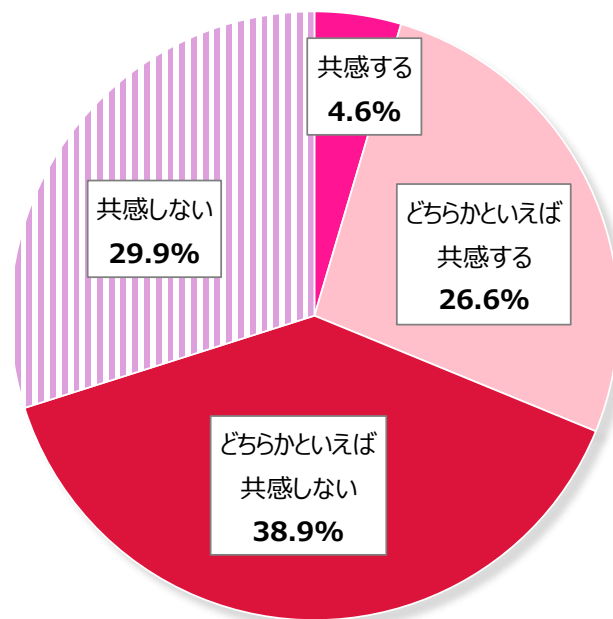
	中学校	高等学校	短大・高専・ 専門	大学学部	修士・博士前期・ 専門職大学院	博士後期	その他
回答者数	148	2675	3491	3363	225	48	50
構成比(%)	1.5	26.8	34.9	33.6	2.3	0.5	0.5

【総論】性別役割分担意識への共感度

「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識について聞くと、「共感する」が5%、「どちらかといえば共感する」が27%で、合わせると3割強。一方で「共感しない」が3割を占め、「どちらかといえば共感しない」を合わせると、7割弱にのぼる。

Q2A.「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識に共感しますか。
(ひとつだけ)

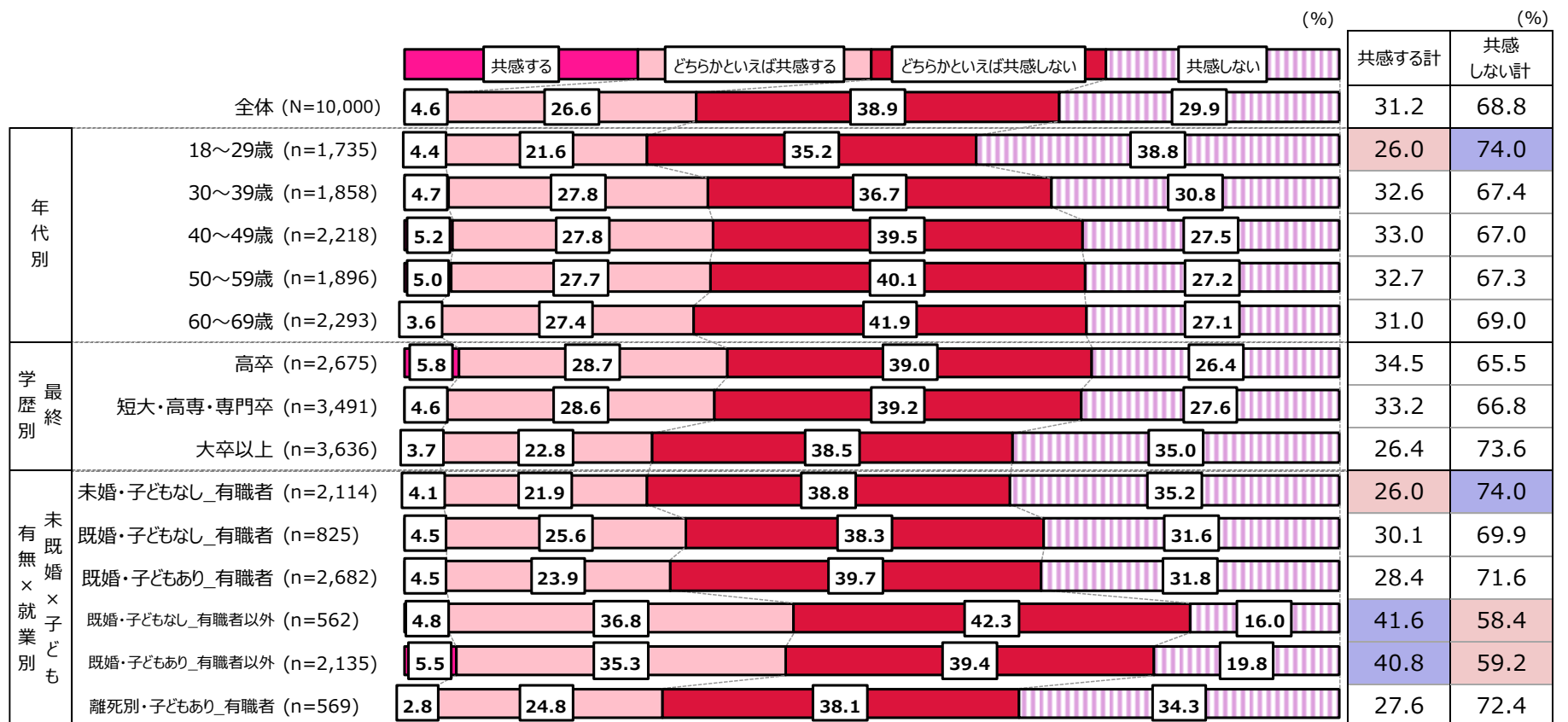
(N=10,000)



性別役割分担意識への共感度

性別役割分担意識への共感度を年代別で見ると、18～29歳では「共感する計」が26%と低く、「共感しない計」が7割を超える。30代以上では大きな差はみられない。
最終学歴別で見ると、大卒以上層で「共感する計」がやや低い。未既婚×子ども有無×就業別で見ると、「共感する計」は未既婚や子どもの有無にかかわらず、有職者層で低く、有職者以外層で高い。

Q2A.「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識に共感しますか。(ひとつだけ)



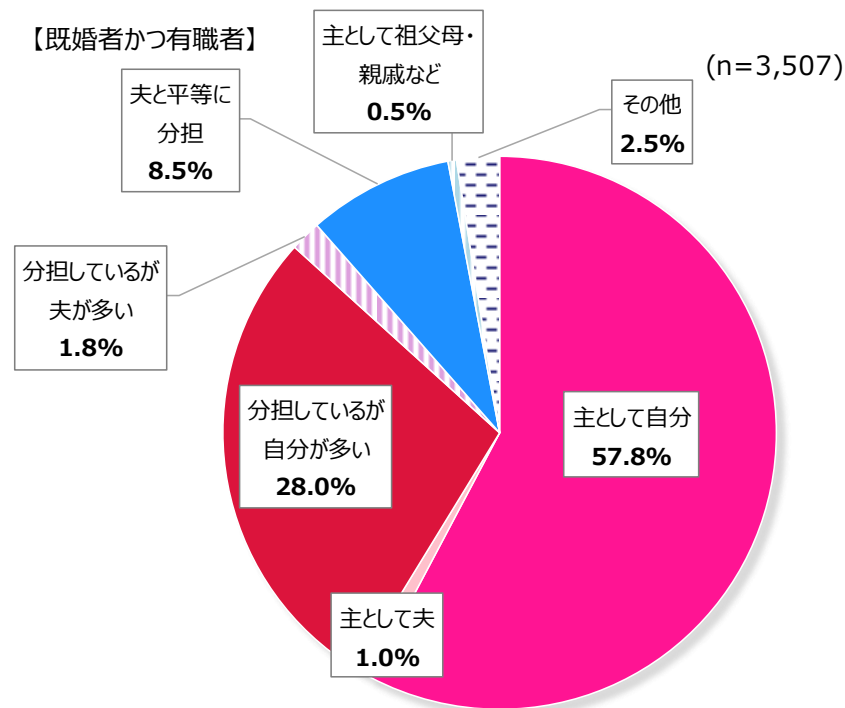
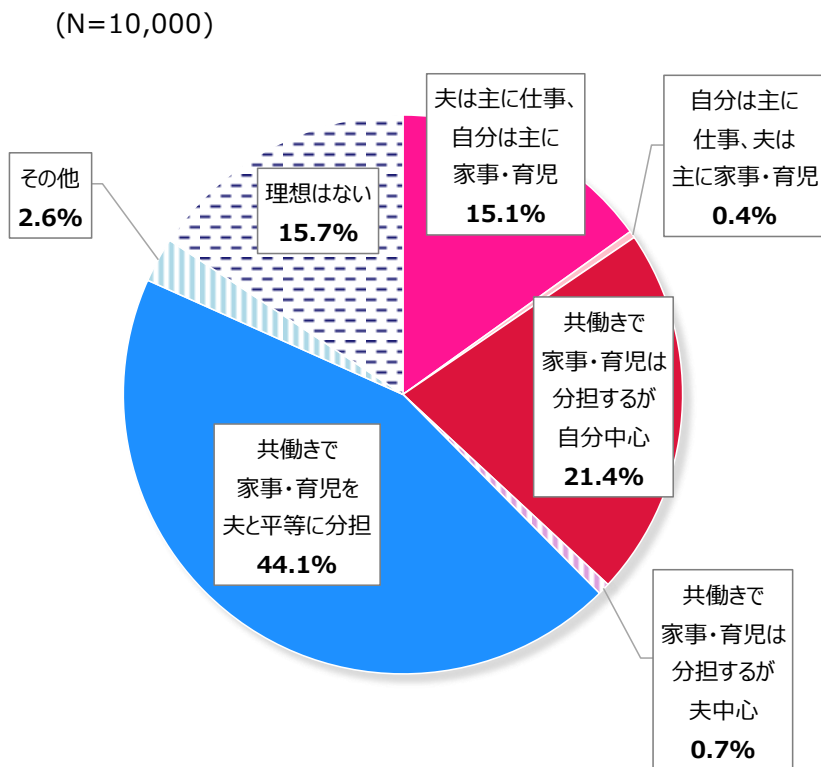
■ : 全体より+5ポイント以上 ■ : 全体より-5ポイント以下

【総論】理想の夫婦の役割分担／現実の夫婦の役割分担

理想の役割分担については、「共働きで家事・育児を夫と平等に分担」が44%で最も多い。以下「共働きで家事・育児は分担するが自分中心」が21.4%、「夫は主に仕事、自分は主に家事・育児」が15.1%と続き、それらの合計で37%。自分が家事・育児を主に担当したいと思う層が一定数存在する。既婚かつ有職者について現実の役割分担をみると、「主として自分」が58%と半数を超え、次いで「分担しているが自分が多い」が28%。理想として最多の「夫と平等に分担」は9%にとどまる。

Q2B.仕事や家事・育児について、夫婦間でどのような役割分担が理想ですか。(ひとつだけ)

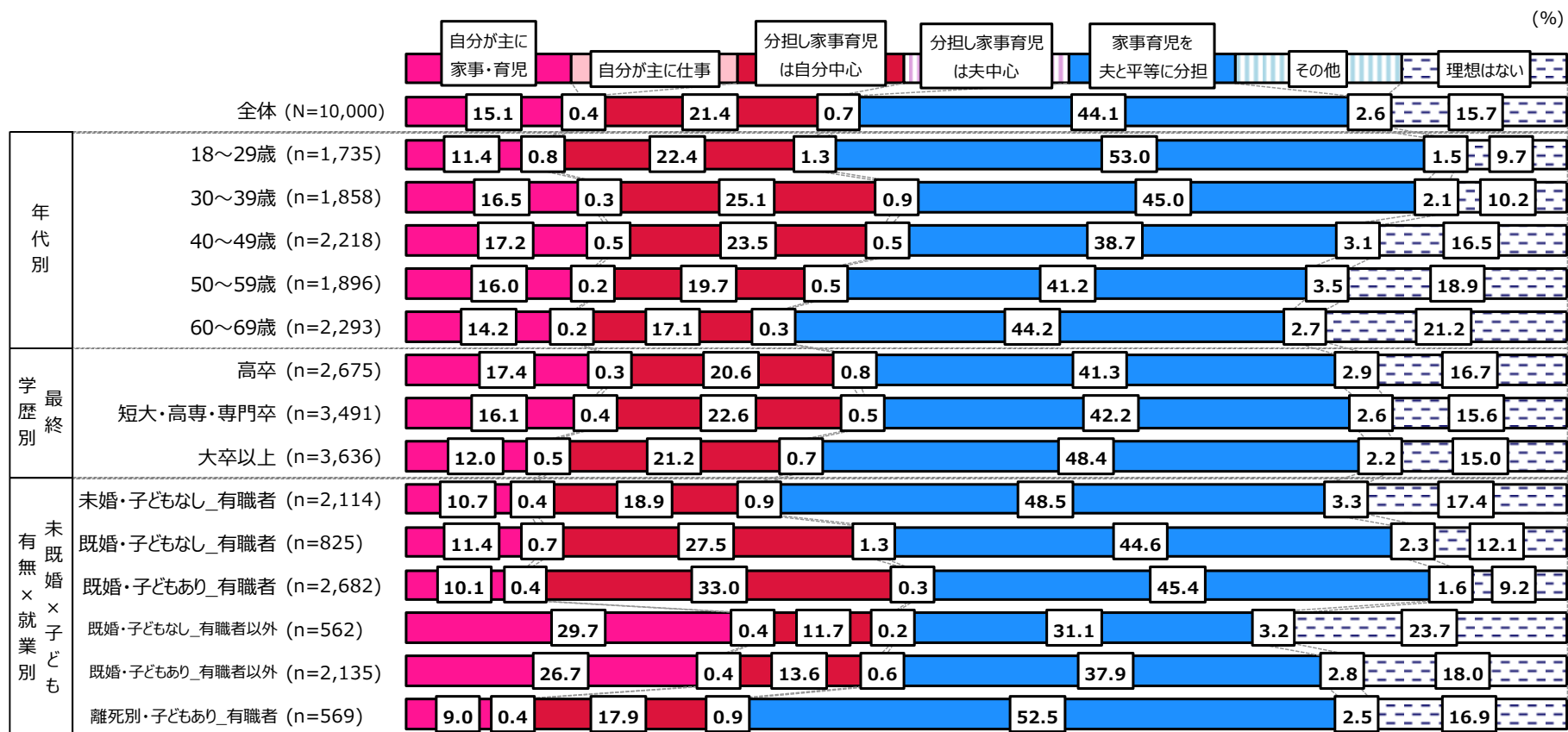
Q3C.既婚者かつお仕事をもちの方にはうかがいます。あなたのご家庭では、家事や育児は主にどなたが担っていますか。(ひとつだけ)



理想の夫婦の役割分担

理想の夫婦の役割分担を年代別で見ると、「家事・育児を夫と平等に分担」の割合は18~29歳で最も高く、5割を超える。最終学歴別で見ると、大卒以上層で「家事・育児を夫と平等に分担」の割合が高い。未婚×子ども有無×就業別で見ると、離死別・子どもあり_有職者層では「家事・育児を夫と平等に分担」が5割を超える。既婚_有職者以外層は子どもの有無にかかわらず、他の層より「自分が主に家事・育児」の割合が高い。

Q2B.仕事や家事・育児について、夫婦間でどのような役割分担が理想ですか。(ひとつだけ)

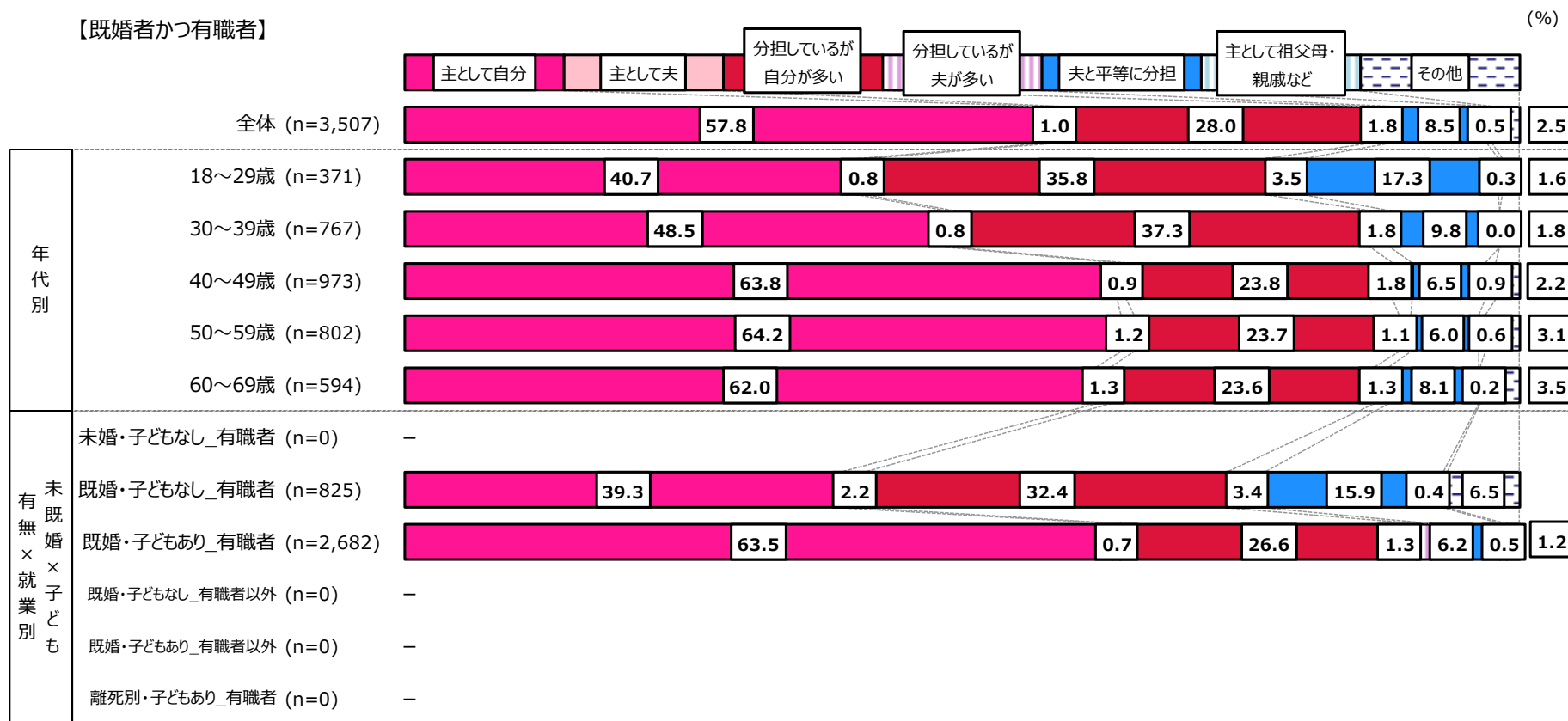


現実の夫婦の役割分担

既婚かつ有職者について現実の夫婦の役割分担を年代別で見ると、40代以上では「主として自分」が6割を超える。30代以下では「主として自分」が5割未満で、「分担しているが自分が多い」が3割を超える。既婚_有職者を子ども有無別で見ると、子どもあり層では「主として自分」が6割を超えるが、子どもなし層では「主として自分」が4割弱、「分担しているが自分が多い」が3割強となっている。

Q3C.既婚者かつお仕事をお持ちの方にうかがいます。あなたのご家庭では、家事や育児は主にどなたが担っていますか。(ひとつだけ)

【既婚者かつ有職者】

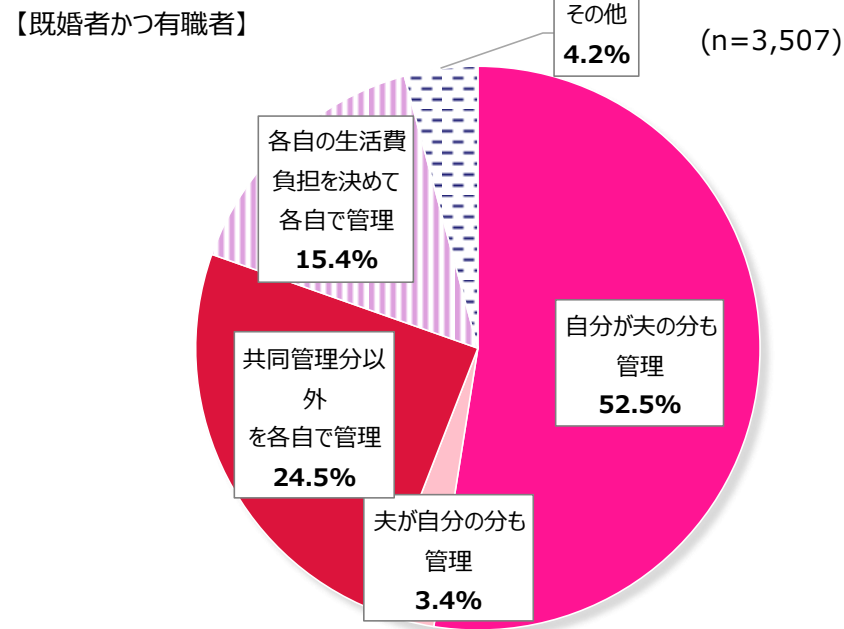
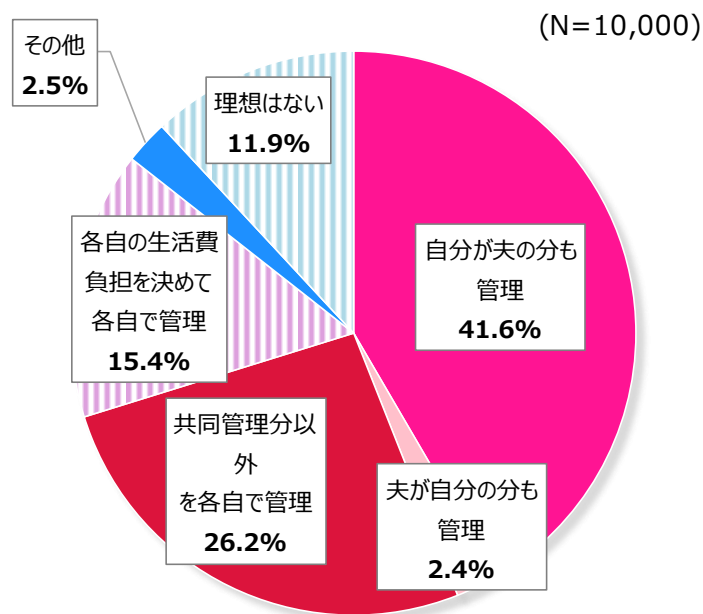


【総論】理想の家計管理の方法／現実の家計管理の方法

理想の家計管理の方法としては、「自分が夫の分も管理」が42%で最も多く、以下「共同管理分以外を各自で管理」(26%)、「各自の生活費負担を決めて各自で管理」(15%)と続く。
 既婚かつ有職者について現実の家計管理方法をみると、「自分が夫の分も管理」が最も多く、53%と半数を超える。これに「共同管理分以外を各自で管理」「各自の生活費負担を決めて各自で管理」の順で続き、それぞれ理想とほぼ同水準の割合となっている。

Q3A. 家計の管理はどのような形が理想ですか。(ひとつだけ)

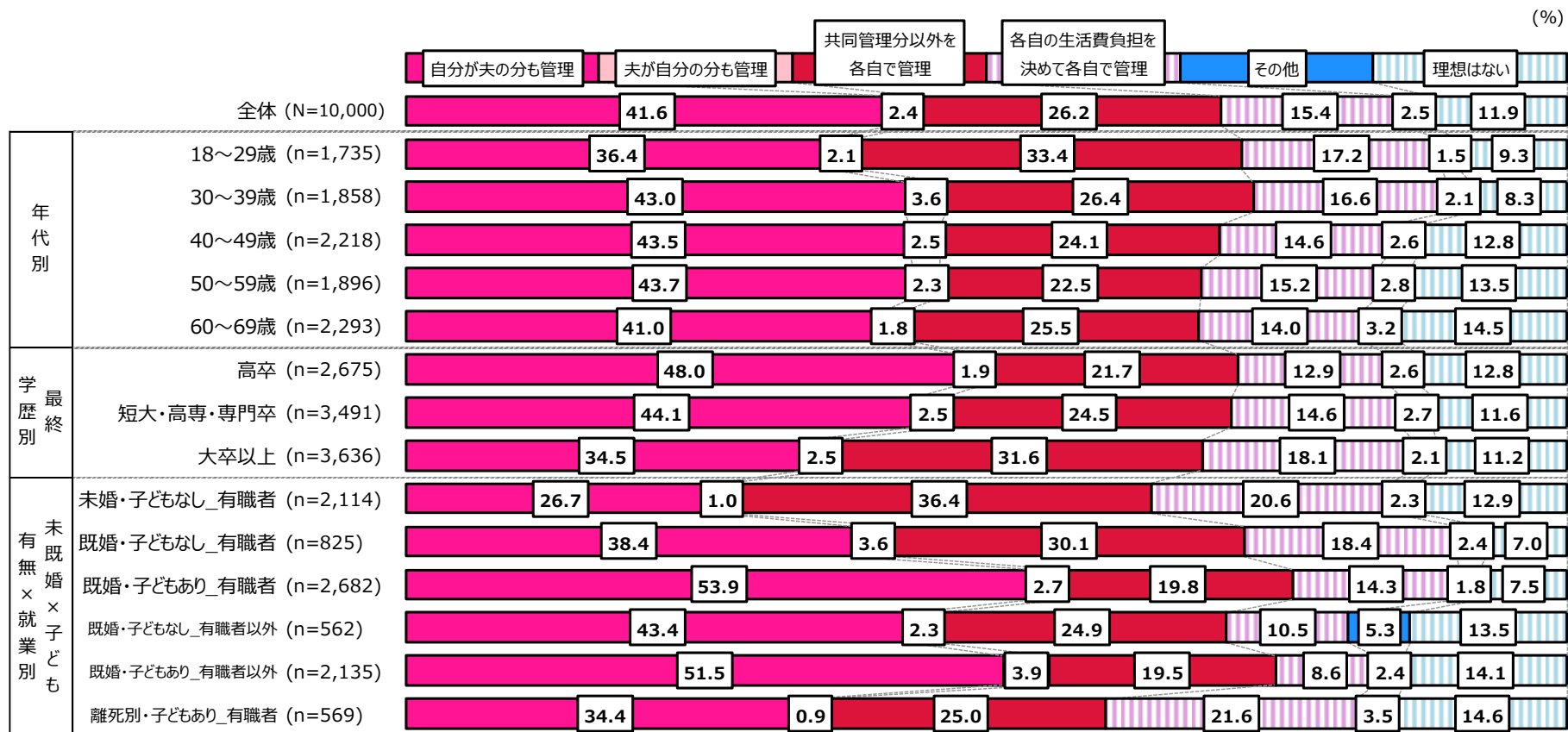
Q3B. 既婚者かつお仕事をお持ちの方にうかがいます。あなたのご家庭では、
 実際の家計管理はどうしていますか。(ひとつだけ)



理想の家計管理の方法

理想の家計管理の方法を年代別で見ると、18~29歳では「共同管理分以外を各自で管理」が3割を超え、30代以上より高い。最終学歴別で見ると、大卒以上層は他の層より「自分が夫の分も管理」の割合が低く、「共同管理分以外を各自で管理」の割合が高い。未婚×子ども有無×就業別で見ると、既婚・子どもあり層は職業の有無にかかわらず、「自分が夫の分も管理」が5割を超える。未婚・子どもなし_有職者層では「共同管理分以外を各自で管理」が3割を超え最も多い。

Q3A.家計の管理はどのような形が理想ですか。(ひとつだけ)

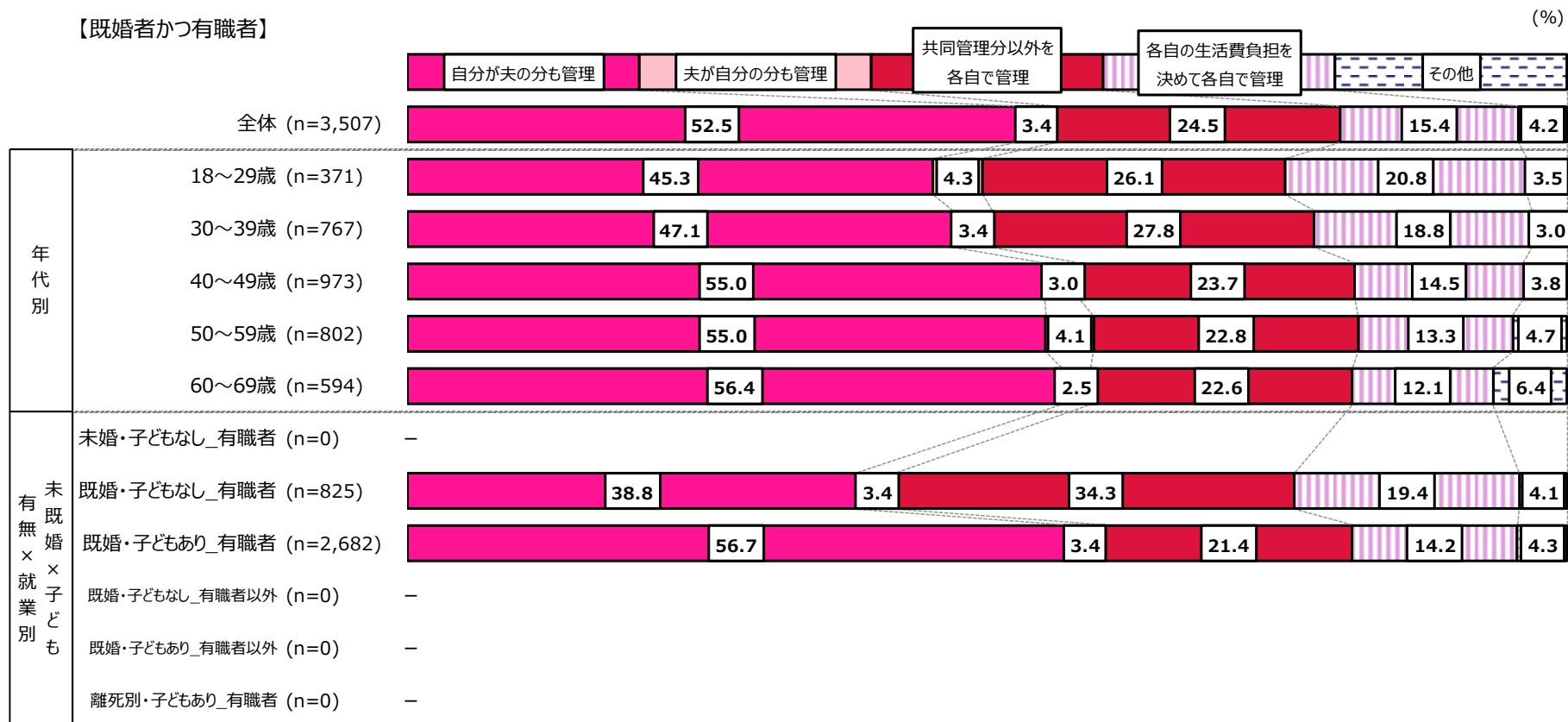


現実の家計管理の方法

既婚かつ有職者について現実の家計管理の方法を年代別でみると、40代以上で「自分が夫の分も管理」が5割を超える。既婚_有職者を子ども有無別でみると、子どもあり層では「自分が夫の分も管理」が5割を超えるが、子どもなし層では「自分が夫の分も管理」と「共同管理分以外を各自で管理」がそれぞれ30%台となっている。

Q3B.既婚者かつお仕事をもちの方のうち、あなたのご家庭では、実際の家計管理はどうしていますか。(ひとつだけ)

【既婚者かつ有職者】

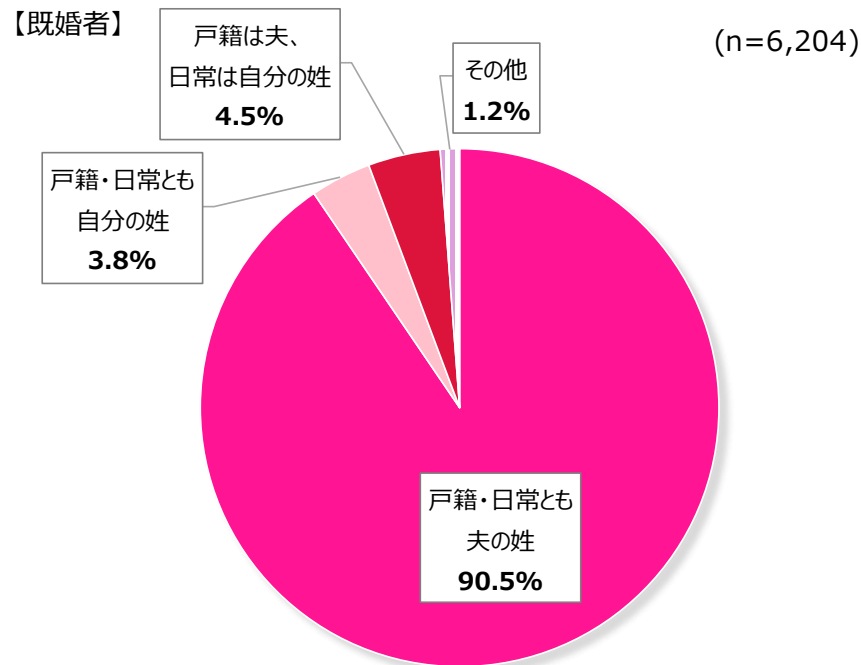
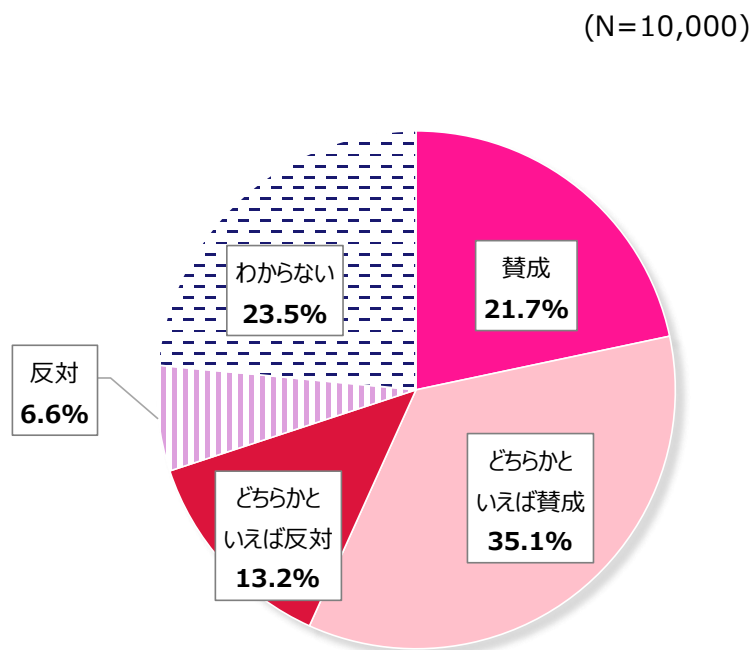


【総論】夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否／夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応

夫婦同姓については、「賛成」が22%、「どちらかといえば賛成」が35%で、これらを合わせた賛成派は57%と半数を超える。「反対」(7%)と「どちらかといえば反対」(13%)を合わせた反対派は2割、態度保留は2割強を占める。既婚者について現実の対応をみると、「戸籍・日常とも夫の姓」が91%にのぼる。「戸籍・日常とも自分の姓」は4%で、合わせて94%が日常も含め夫婦同姓にしている。「戸籍は夫、日常は自分の姓」は5%。

Q4A.民法は、夫婦が同じ氏（姓）を名乗る「夫婦同氏（夫婦同姓）」を定めていますが、これについてどう思いますか。（ひとつだけ）

Q4C.既婚者の方にうかがいます。あなたは「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、現実にとどのように対応していますか。（ひとつだけ）

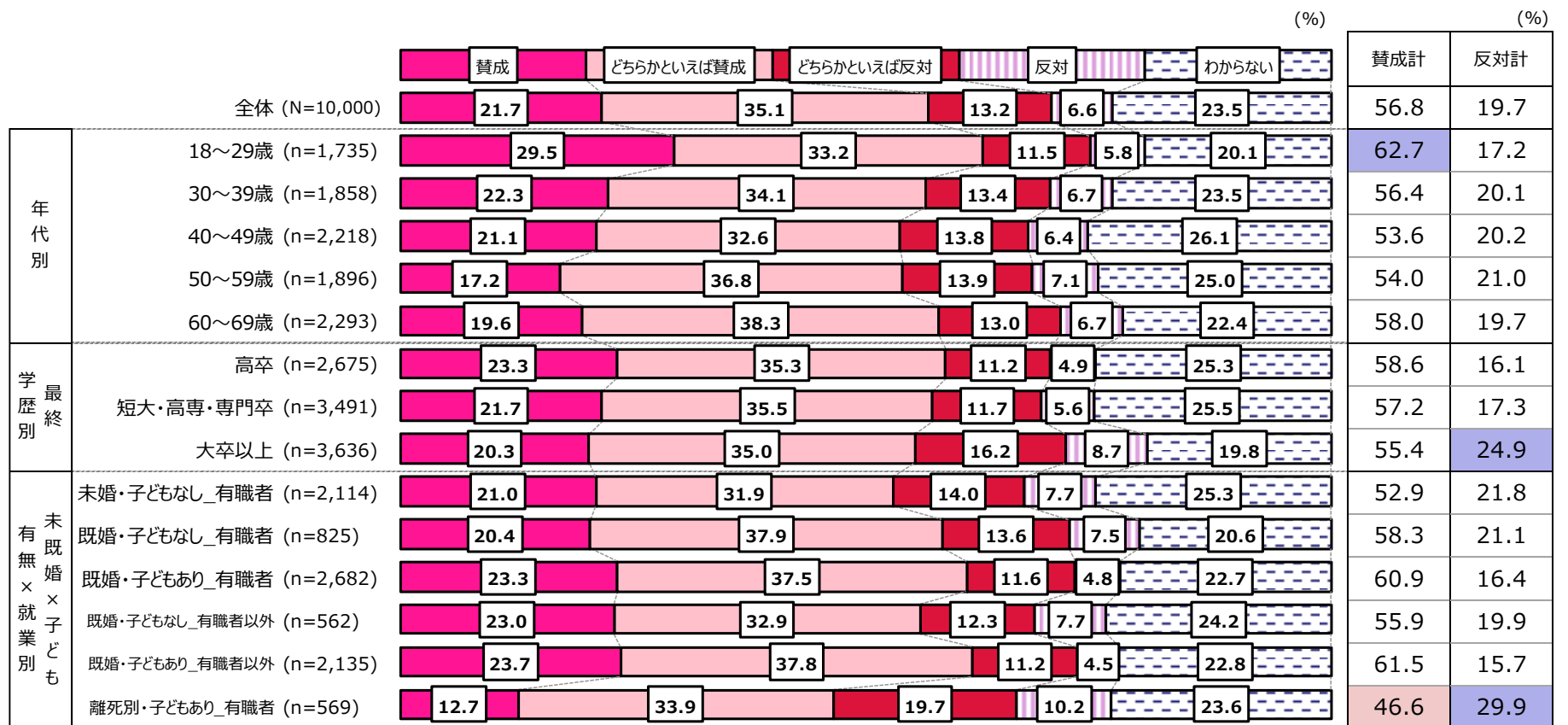


賛成計 : 56.8%

夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否

夫婦同姓への賛否を年代別で見ると、「賛成計」は18～29歳で6割強と高いが、30代以上では大きな差はみられない。最終学歴別で見ると、大卒以上層で「反対計」が2割を超える。未婚×子ども有無×就業別で見ると、離死別・子どもあり_有職者層は他の層に比べて「賛成計」が低く、「反対計」が高い。

Q4A.民法は、夫婦が同じ氏（姓）を名乗る「夫婦同氏（夫婦同姓）」を定めています。これについてどう思いますか。（ひとつだけ）

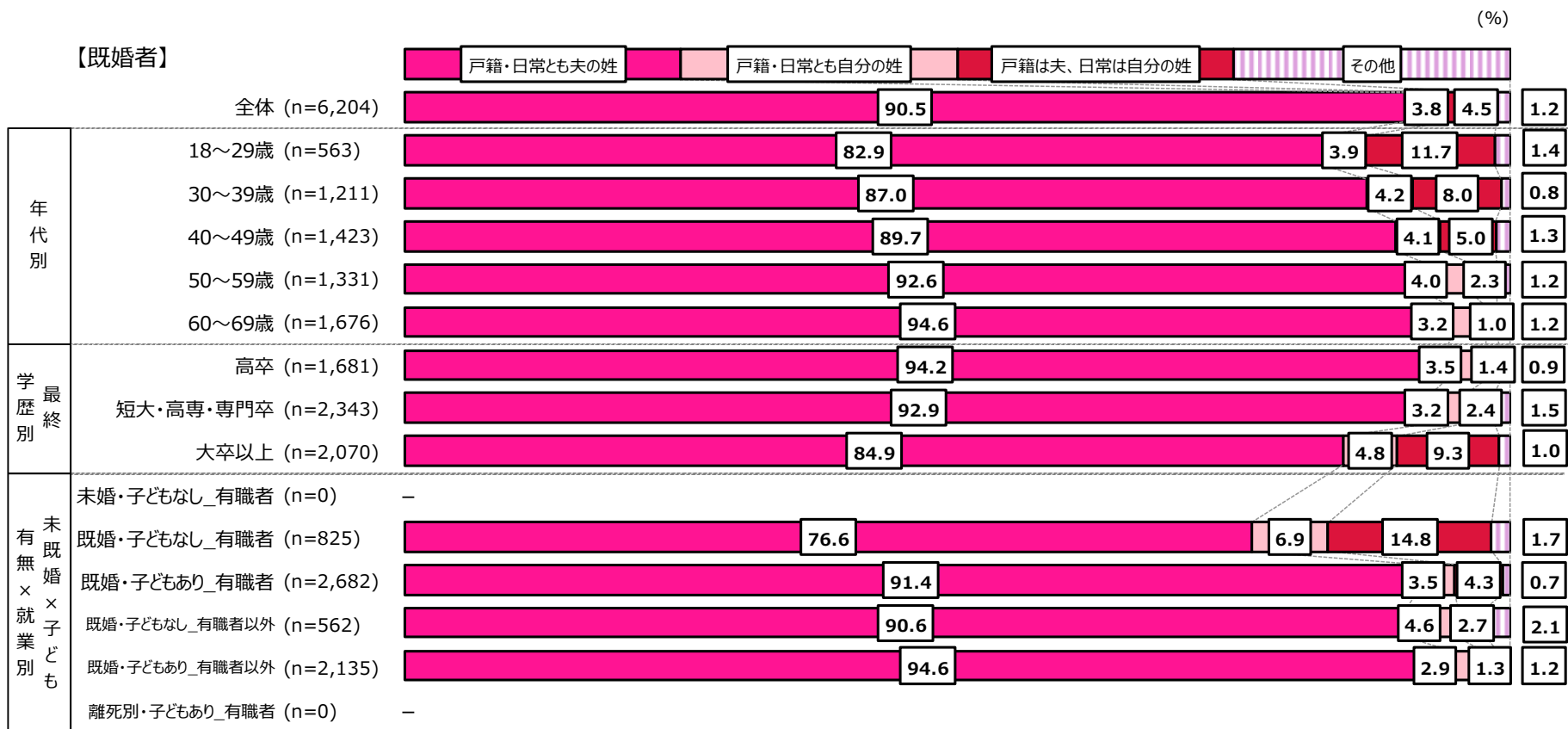


■ : 全体より+5ポイント以上 ■ : 全体より-5ポイント以下

夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応

既婚者について夫婦同姓への実際の対応を年代別でみると、年代が高いほど「戸籍・日常とも夫の姓」の割合が高く、年代が低いほど「戸籍は夫、日常は自分の姓」の割合が高い。
 最終学歴別でみると、大卒以上層で「戸籍・日常とも夫の姓」の割合が低く、「戸籍は夫、日常は自分の姓」の割合が高い。既婚者の子ども有無×就業別でみると、子どもなし_有職者層のみ「戸籍・日常とも夫の姓」が70%台と低い。

Q4C.既婚者の方にうかがいます。あなたは「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、現実になどのように対応していますか。（ひとつだけ）



未婚率上昇・晩婚化について

未婚率上昇・晩婚化についての様々な考え方について聞いた。【結婚せずに1人で自由に使える時間が維持できるのはいいことだ】については、「そう思う」が70%を占める。年代による差が顕著で、若年層ほど「そう思う」が高く、18～29歳では8割を超える。

Q5A.未婚率の上昇・晩婚化が進んでいますが、以下の考え方についてどう思いますか。（それぞれひとつずつ）

